

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

事務事業名		伝統的建造物群保存地区保存事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050203000901
		政策体系上の位置付け			単独/補助	補助		060201
政策体系	総合計画の施策名	0502 住環境の整備と景観形成			主要事業		所属課	都市整備課
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり			市長マニフェスト			
	施策名	02 住環境の整備と景観形成			未来PJ事業		グループ	都市政策G
	手段名	03 ③景観の維持・向上			合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計		
	01	08	04	05	01	00	伝統的建造物群保存地区推進事業	
					単年度繰返し (年度~)			
法令根拠					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
文化財保護法、都市計画法、桜川市伝統的建造物群保存地区保存条例、同施行規則、桜川市伝統的建造物群保存地区保存事業補助金交付要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>平成22年6月に重要伝統的建造物群に選定された桜川市真壁伝統的建造物群保存地区 (桜川市真壁町真壁地内 約17.6ha) について、地区の保存計画に基づき、伝統的建造物の復元修理や、一般建造物を伝統的建造物に做って修景することにより、町並み景観の向上を図る。</p> <p>また、修理を進める過程において、家屋の痕跡調査を進め、伝統的建造物群保存地区の歴史的価値の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内住民に向け、制度の周知 (規制と補助) を進める 伝統的建造物に対する修理費の一部を交付する 一般建造物を修景する際の事業費の一部を交付する 修理、修景・、許可事業の設計相談を随時行い、事業の進捗を図る 規則に定められた手続きや書類作成の指導をするとともに、修理・修景事業の現場監理を行う 		<p>修理事業 (災害復旧)</p> <p>東日本大震災で被災した特定物件の修理に補助金を交付する。併せて、設計図の確認、設計金額の適正化の確認。</p> <p>修理事業 (一般)</p> <p>特定物件の修理に補助金を交付する。併せて、設計図の確認、設計金額の適正化の確認。</p> <p>修景事業</p> <p>地区内の一般建造物の修景に補助金を交付する。併せて、設計図の確認、設計金額の適正化の確認。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
特定物件の修理に補助金を交付する。併せて、設計図の確認、設計金額の適正化の確認。 地区内の一般建造物の修景に補助金を交付する。併せて、設計図の確認、設計金額の適正化の確認。	説明会の実施回数	回	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区 ・保存地区内の住民および建造物等	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区の面積	ha	17.60	17.60	17.60	17.60	17.60
	特定物件の数	件	172.00	172.00	173.00	174.00	175.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
伝統的建造物等を修理・修景する	修理・修景件数	件	5.00	3.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
		国庫支出金	140,000	43,028	31,440	0
		県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	-140,000	20,613	17,277	0
		事業費計 (A)	0	63,641	48,717	0
		正規職員従事人数	3.00人	2.00人	3.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	08 報償費	13		01 報酬	21	
	11 需用費	47		08 報償費	35	
	13 委託料	211		09 旅費	280	
	15 工事請負費	1,296		11 需用費	62	
	19 負担金補助及び交付金	62,074		12 役務費	1	
				14 使用料及び賃借料	3	
				19 負担金補助及び交付金	48,315	
	合計	63,641		合計	48,717	

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業	事務事業No.	50203000901	所属課	都市整備課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 町並み保存運動を背景に、平成11年度より登録文化財制度を積極活用し、町並み保存事業に着手した。
 平成15~17年度にかけて伝統的建造物群保存対策調査を実施し、平成18年度に伝統的建造物群保存地区保存条例を制定。
 平成19年度に伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し、平成21年度に伝統的建造物群保存地区制度を導入した。
 平成22年6月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。
 現在は、平成23年3月11日の東日本大震災により被災した特定物件の災害復旧事業を進めている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 災害復旧事業の完了。修景事業の推進。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	伝統的な町並みにおける現状変更の規制及び建物の復元的修理は、良好な景観を形成する手段である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	町並み景観は公共の財産であり、個人で形成することはできない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	要望のあった現状変更及び修理に全て対応している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	例規に定められた制度を運用できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	歴史的風致形成建造物修理事業と適用できる対象、範囲が異なり、統合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	例規に定められた補助率により実施しており、削減すると制度が成り立たなくなる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	町並み景観は地区全体の公共の財産であるとともに、市を代表する観光資源である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	個人の財産に対する間接補助事業を主とするため、行政の役割にはおのずから制限があるが、その範囲内で事業を適切に進めている。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 人員の増化、制度の周知	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持 低下	×	×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○	×														
	維持 低下	×	×	×														
(6) 事務事業優先度評価結果																		
成果優先度評価結果 ③																		
コスト削減優先度評価結果 -																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>